

## みんなで作る田名の会 第4回全体会 議事概要

日時：平成18年11月22日（水） 19:00～21:00

会場：田名公民館 大会議室

### 1 防災に関する取組みについて

#### (1) 防災部会からの検討結果概要報告

- ・テーマ選定理由について、防災部会長から説明。
- ・災害につよい街づくりから『災害に備える街づくり』へのテーマ変更の説明。
- ・飲料水確保と井戸水の活用について パートナーシップ推進課より説明。  
災害時の水に関する参加者からの意見
  - ・水の缶詰を調査してみてもどうか。
  - ・事実上災害時のトイレ対策は結構重たい問題である。（特に地震のときは）
  - ・マンホールに設置の簡易トイレは無理ではないか？下水道管が破損して流れないこともあるのでは？
  - ・災害時のトイレなどの生活用水問題は、想像するより難しい。
  - ・避難所である学校に置いてあるろ水機などの設備は、稼動するのかチェックしているのか。
  - ・災害発生時は、避難者が学校に集中すると考えるが、まとめ役は誰がやるのか？
  - ・災害時には、市の職員が3人避難所担当として設置される。
  - ・市のほうで仮設住宅などの避難場所が確保されているのか？
  - ・一時避難場所の所在地が実態にあっていないが、どうなっているのか。
  - ・一時避難場所は各自治会で選定するものであり、企画会議で実態に合っていないことが判明したので、地区連に情報提供を行なったところである。地区連では各自治会に変更・訂正の依頼を行なっている。
  - ・市の避難所担当職員は、ろ水機の操作訓練を受けている。
  - ・地域の人でろ水機を動かせる人が必要なので、自分たちでろ水機をチェックすることも必要なのではないか。
  - ・避難所担当を地域の人が知らないのは問題ではないか、担当の職員を調べ、知っておく必要があるのではないかと？ 設備のところには張り出すとか、公民館に写真を貼っておくとかしたほうが良いのでは。

#### (2) 災害対策活動について

災害対策意識の啓発活動について、防災部会長から提案された。また、防災体験事業について、小学生の親子を対象とした防災に関するデイキャンプなど、大規模な防災訓練の実施に関する提案がされた。

- ・防災訓練はなかなか人が集まらないので、役をもらっている人が出て来れる体制を作ることが大切なのではないか。
- ・案ずるより生むが安し、とりあえずやってみることが大切。
- ・色々なことが地域に伝わっていない。情報をどのように発信するかが大切だが、自治会館に行けば分かるようにしておくなどの行動をおこしてみてもどうか。みんなは自治会に指示できる団体ではないので、そのあたりの調整が難しい。  
企画会議、防災部会で実施内容を再度検討することとした。

### 3 情報紙の発行について

広報部会長より説明。単に伝えたいことを載せるのではなく、分りやすい内容で繰り返し発信していく情報紙を目指して、キャンペーン的なものなど盛込み年3～4回発行する。原稿提供には協力をお願いしたい。

#### 4 組織構成のあり方について

これまではパートナーシップ推進課で会議資料作成をしてきているが、総務など機能・組織を強化していくべきではないか。

- ・総務（事務局）の担当を増やしていきたい
- ・活動に応じた部会を増やしていきたい
- ・新たな会員の参加により組織を少しずつ拡充していきたい

#### 5 その他（各種団体よりの情報提供・PR等）

##### ○防犯協会から活動報告

- ・現在防犯ベストを 200 着を配布している。配布された方は極力外出時には着てほしい。
- ・青パトは、かなり稼働している。現在 18 人の運転手しかいませんので増員を図りつつ、来年は毎日稼働を目指している。
- ・市と防災協定を結んでいる会社を地域に周知して欲しい。

##### ○新規参加者からの感想

- ・皆さんの意見を聞いているだけでいっぱい。
- ・防災訓練は、学校で PTA と連携してできたらと思う。

##### ○その他

- ・災害時に独居老人の方がどこに住んでいるのか、個人情報保護の関係で分からない。そのときに活躍するのがケアマネージャの介護保健受給者情報であると思う。いざと言うときにはケアマネージャと連携した安否確認ができるのではないかと思います。